事例No.	2428
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	くりはらツーリズムネットワーク

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

Keep the "Made in MADE（まで）"足もとの価値をつなげる体験プログラム

出典

平成27年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

宮城県栗原市

くりはらツーリズムネットワーク

Keep the “Made in MADE（まで）” 足もとの価値をつなげる体験プログラム



杵つき餅をついて、餅を切る体験。かつては、年間70日も餅を食べる文化があった。旅行商品や団体の視察など、大人数にも対応できるプログラムが可能に。

事例の概要

10町村が広域合併し、誕生した栗原市では、豊かな自然環境と農業などの地域資源を生かした観光・ツーリズム事業による地域づくりを目指していたが、その実践者は旧町村単位で体験活動を実践してきたため、市民が一体となって取り組む活動に乏しい状況にあった。

このような中、くりはらツーリズムネットワークは、町村合併前に点在して活動していたグリーン・ツーリズムをはじめとする体験活動の実践者が自ら交流の場を持ち、連携することを目指して、平成22年3月に設立された。

農作業や伝統食の調理実習、建造物の修復、林業、自然体験、登山・トレッキングといった自然と共生しながら農を主体に育んできた人々のワザと生きる術や特技を活用した体験プログラムを開発し、地域内外の方々との交流を促進する事業を展開しながら、地域文化を丁寧に伝え、地域のアイデンティティを高める活動が実施されている。



くりはらツーリズムネットワークのみなさん（体験プログラムへの参加者もいっしょに）

評価のポイント

平成 17 年に 10 町村の広域合併により誕生した栗原市では、豊かな自然環境と地域資源を活かした観光･ツーリズム事業による地域づくりを目指していたが、旧町村単位で活動をしていたため、市民が一体となって取り組む活動は行われていなかった。

このような中、合併前の 10 町村に点在する実践者の知恵や技の交流と連携を目指して、くりはらツーリズムネットワークが設立され、人々の暮らしの中で培われた知恵や技を掘り起こし、これらを実践する地域の人々を「先生」として、多彩な体験プログラム（農作業、地域の伝統食の調理実習、歴史的建造物の修復、自然体験など）を開催することで地域内外の交流を促進しており、現在の参加者は、設立当初の 10 倍に達するなど多くの参加者を集めている。

地域の人々が培ってきた暮らしの中の知恵や工夫を地域資源と捉え、その価値を高める努力をしながら、魅力を地域内外に発信し、単に技術を伝えるにとどまらず、日々の営みの中で生まれた知恵や工夫に焦点を当てる活動は、地域の人々にその価値を再認識させるとともに、それらの知恵や技に新たな価値を与えている。

このように、くりはらツーリズムネットワークが行う取組は、地域内に好循環を生み出しているだけでなく、地域外からの観光客の増加、交流人口の拡大に繋がっており、人という資源を活かした地域づくりの手本となっている。また、地域の人々がその土地の魅力を再認識することにより、地域の連携やアイデンティティの確立に寄与している。

また、くりはらツーリズムネットワークを牽引する強いリーダーシップにより、この活動に若者が参画するなど、地域に好循環を生み出しており、今後のさらなる取組の広がりと発展が大いに期待される。

本事例は、こうした点が高く評価された。



正月用の「しめ飾り」を作る体験プログラム。ほんの数十年前まで暮らしに欠かせなかったワラの万能な役割と暮らしの行事を学ぶことができる。



二度の大震災で壊れた地域の特徴的な長屋門を修復する復古創新プロジェクト。職人と一緒に自分たちで修復することで、地域文化を学ぶ。



市民が手作りした地元のモノだけを販売する栗原手づくり市「十文字商店」。販売を通じて、手づくりの価値を広めるイベントとなっている。

DATA

宮城県栗原市（くりはらし）

団体名●くりはらツーリズムネットワーク
所在地●〒989-5504　宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味45番地
連絡先●TEL：0228-24-8588　FAX：0228-24-8588
E-mail:kurihara.tn@gmail.com　URL:http://ktnpr.com/

【交通のご案内】
自動車●東北自動車道　浦和ＩＣから築館ＩＣ　4時間50分
宮城ＩＣから築館ＩＣ　50分
鉄　道●東北新幹線　東京からくりこま高原駅　2時間30分
飛行機●仙台空港から自動車（東北自動車道 築館ＩＣ経由）で1時間20分



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
129,144	95,801	84,947	80,248	74,932

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-42.0	-21.8	-11.8	-6.6

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
32.5	11.9